

ショパン&シューマン生誕200年

今年には作曲家のショパンとシューマンの生誕200年に当たる。多くの演奏家が記念コンサートを開催を予定しているが、国内外で活躍するチェリストの荒庸子(あらかうこ)写真Ⅱは、3月にリサイタル「ショパンとシューマンの生誕200年を祝して」を開催する。

荒は桐朋学園大学を経て米ラトガース大学音楽科を卒業。米ジュリアード音楽院修士課程を卒業し、在学中にはジュリアード・オーケストラの首席を務めた。

荒庸子がチェロ・リサイタル



国内外での公演に多数出演し、洗足学園音楽大学非常勤講師を務める。

リサイタルで演奏するのは、シューマンの「幻想小曲集」やショパンの「チェロ・ソナタ」など5曲。荒は「今回のリサイタルは、私が敬愛する2人の大作曲

家が誕生した年に向けて温めてきたもの。200年にわたり多くの演奏家によって継がれてきた楽曲には、時がはぐくんた『本物』の荘厳さがあります。最近是人と人のつながりが希薄になっていきますが、私の奏でる調べが新たな出会いにつながればうれしいです」と話している。

東京・銀座の王子ホールで3月16日午後7時開演。共演はピアニストの山田武彦。☎03・5429・2399。